



昨年のハイブリッドカー部品解説の様子

平成26年8月12日(火)
あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター
自動車・機械技術室 担当 水野、依田、山本
電話 0566-24-1841(代)
愛知県産業労働部 産業振興課
自動車産業グループ 担当 一色、鈴木
内線 3465、3466
ダイヤルイン 052-954-6376
愛知県産業労働部産業科学技術課
管理・調整グループ 担当 加藤、水野
内線 3389、3388
ダイヤルイン 052-954-6347

「次世代自動車先端技術研修」の参加者を募集します

—次世代自動車に用いられる新技術を習得するための研修を実施—

愛知県では、「あいち自動車産業イノベーションプラン(平成24年3月策定)」に基づき、自動車部品関連中堅・中小企業の次世代自動車部品製造への展開を支援する技術研修を行っています。

今回、あいち産業科学技術総合センター産業技術センターで実施する「次世代自動車先端技術研修」では、グローバルな視点から見た今後の自動車開発トレンドと、昨今話題となっているCFRP*1、燃料電池*2の現状と課題について、開発現場技術者が解説する共通講義を実施したうえで、CFRP、燃料電池については製作・評価実習を、今後も主流と目されるハイブリッドシステムについては実部品解説を取り入れた、個別技術研修を行います。

皆様方のご参加をお待ちしています。

1 研修日程・内容

共通講義

10月21日(火) 13:00~16:40

自動車技術の将来動向 (13:00~15:00)

ふじむら としお

愛知工業大学工学部機械学科 教授/トヨタ自動車(株)エンジン統括部 主査 藤村 俊夫 氏
グローバルな視点から見た次世代自動車の技術開発トレンドについて、パワートレイン*3を中心にお話しします。また大学における高効率エンジン研究についてもご紹介します。

自動車産業におけるCFRPの利用とその課題 (15:10~16:10)

とみた たかひろ

有限会社CAST 代表取締役 富田 隆広 氏

CFRP各種工法の解説と、製作現場からその課題をお話しします。

燃料電池の仕組みとその技術課題 (16:10~16:40)

すずき まさし

あいち科学技術総合技術センター産業技術センター自動車・機械技術室 主任 鈴木 正史
固体高分子形燃料電池の構造と仕組み、各部材の技術課題についてお話しします。

個別技術研修（共通講義と個別技術研修1つをセットでお申込ください）

燃料電池 10月27日(月)9:30～16:30	CFRP 10月28日(火)9:30～16:30	ハイブリッドシステム 10月29日(水)13:00～17:00
産業技術センター <small>すずき まさし</small> 主任 鈴木 正史 他 燃料電池自動車に用いられる 固体高分子形燃料電池について、セルの組立てから性能評価まで実習します。	(有)CAST <small>とみた たかひろ</small> 代表取締役 富田 隆広 氏 SMC成形法* ⁴ によるCFRPの製作実験と強度試験を行います。	(株)サンコーテクノネット <small>ひだ ひろし</small> 技監 飛田 宏 氏 各社ハイブリッド車の技術解説と、アクア分解部品を用いた部品解説を行います。

2 研修場所

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター
刈谷市恩田町1丁目157番地1

3 対象

次世代自動車に関する技術の習得を目指す県内の中堅・中小企業の方

4 募集期間

平成26年8月12日(火)から平成26年10月3日(金)まで

5 定員

共通講義+燃料電池研修：4名
 共通講義+CFRP研修：6名
 共通講義+ハイブリッドシステム研修：40名
 (応募者多数の場合は、抽選により受講者を決定します。)

6 受講料

無料

7 申込方法

申込書に必要事項を記入の上、E-mail又はFAXで下記あてにお送りください。
 申込書は、あいち産業科学技術総合センターのホームページからダウンロードできます。
 (http://www.aichi-inst.jp/sangyou/news/up_docs/26jidousha.pdf)

8 申込先・問い合わせ先

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター
 自動車・機械技術室 水野、依田、山本
 〒448-0013 刈谷市恩田町1丁目157番地1
 TEL：0566-24-1841
 FAX：0566-22-8033
 E-mail：jidousha_kenshuu@aichi-inst.jp

【用語解説】

*1 CFRP (Carbon Fiber Reinforced Plastics)

炭素繊維と樹脂の複合材料で、炭素繊維強化プラスチックとも言われる。軽くて強い素材として、スポーツ用品や航空機分野で多用されてきた。近年、自動車分野への適用を目指し、生産性を確保するさまざまな工法が検討されている。

*2 燃料電池

水素(燃料)と空気中の酸素の化学反応により、水を生成すると同時に電気を取り出す装置で、自動車用には固体高分子形燃料電池が採用される。走行中に水しか排出しない、究極のエコカーを作ることができ、本年末(2014年)には一般向けモデルが発売される。

*3 パワートレイン

エンジンで発生させた動力を効率よく駆動輪に伝える一連の機構のことをいい、エンジン、クラッチ、変速機などが該当する。エンジンを持たない電気自動車などの場合はエレクトリックパワートレインという。

*4 SMC成形法 (Sheet Molding Compound)

樹脂と短く切断した繊維からなるシート状の素材(SMC)を型に入れ、加圧・加熱して成形する方法である。成形サイクルが早く大量生産に適しており寸法精度も出しやすいが、長繊維を用いた成形法と比較すると強度は低い。